

# 小中高一貫ふるさとキャリア教育だより

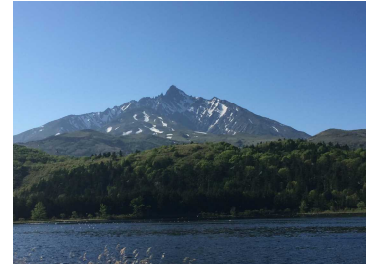
発行日  
平成29年3月2日(木)  
発行者  
宗谷管内地域未来づくり  
会議事務局

## われら島を愛す ～本事業に関する評価指標の結果から～

管内推進校5校(利尻高校、沓形小、仙法志小、沓形中、仙法志中)による本事業の2年目が終了しました。

今年度の活動や取組を振り返るとともに、児童生徒のふるさとへの理解と愛着が育まれたかどうかについて、評価指標に基づいたアンケートを実施しました。

その結果とコメントの一部は、次のとおりです。



### 1 ふるさとへの理解と愛着について 【※( )の数字は、回答した児童生徒数】

評価規準	小(20)	中(13)	高(69)
①地域のことについて、知っていることや好きなことができた。【知る】	1	7	35
②地域のことについて、詳しく調べたり人に話したりできるようになった。【伝える】	8	5	24
③地域の活動に自分から参加しようという気持ちが強くなった。また、実際に地域の活動に参加する回数が増えた。【行動する】	11	1	10

### 2 ふるさとの生活に関する興味・関心について 【※( )の数字は、回答した児童生徒数】

評価規準	小(20)	中(13)	高(69)
①地域のことについて、興味や関心を持っていることを見つけようと行動し、発見することができた。【知る】	3	5	27
②地域のことについて、興味や関心を持っていることが少し増え、詳しく調べたり人に話したりできるようになった。【伝える】	7	4	23
③実際に地域の行事や体験活動に参加することで、地域の小中高生や大人との交流が増えた。【行動する】	10	4	19

## ○ 児童生徒からのコメント

【小学生】○お祭りの旗持ちなどに参加して、人に話したりすることが多くなった。

○以前より地域の行事に参加するようになった。

○キッズビジネスタウンで店員として活動したら、普段のあいさつが多くなった。

【中学生】○活動を通じて、地域の新しい一面を知った。(多くの人と出会うことができた。)

○将来島外へ出たときに、地域のことについて誰かに話してあげたい。

○他の人に話すことが苦手だったけど、少し話せるようになった。

【高校生】○町の広報誌をよく見るようになり、家族と話す機会も増えた。

○実際にイベントに参加し、人や自然など利尻の温かさを改めて感じる事ができた。

○今まで見ていた利尻島とは違う一面に気づき、その一面を多くの人に知ってほしい。

○島の将来について家族や地域の方と話すようになり、数年後、自分が帰島して何をしたいかを考えるようになった。

本事業を通じて、子どもたちは自分の生まれ育った町や地域に誇りをもつとともに、地域に貢献できる、また、地域を離れたとしても自分の生まれ育った町や地域の“広告塔”や“宣伝マン”になることを強く望むようになってきています。

